



# 優しい風の吹く街



熊本地震支援募金活動

(4月17日・5月3日)

熊本・大分地方での地震から3ヶ月がたちました。私たちが行った募金活動で、若い世代のご協力が多かったことが印象深かったです。これからも1日も早い復旧・復興および被災された方々の具体的な生活再建に向けて、支援を続けていきます。

7月の参議院議員選挙では、18歳からの投票が可能となりました。若者が自らの将来と社会の在り様に関心を持って投票し、社会を変える原動力になってくれることを願っています。

## 活動報告～抜粋～



### 3/31 宝塚市議会「郷土史研究会」

演題：風土と歴史を活かした宝塚の街づくり

講師：田辺真人さん（園田学園女子大学名誉教授）

- 4/3 宝塚市体育協会開会式
- 4/8～12 幼小中学校・入学式
- 4/23 宝塚だんじりパレード
- 4/26 宝塚ユネスコ協会総会
- 4/28 宝塚退職教職員協議会総会
- 5/12 議会改革検討委員会
- 5/13 良元コミュニティ総会
- 5/14 議会報告会
- 5/19 宝塚市視力障害者協会総会
- 5/20 手をつなぐ育成会総会
- 5/22 宝塚市原爆被害者の会総会
- 5/24～6/24 宝塚市議会6月定例会
- 5/31 宝塚市国際観光協会総会
- 6/4 宝塚市体育協会総会
- 6/11 連合兵庫女性委員会
- 6/18 掛水寿美枝さん受章お祝い会
- 6/27 水泳授業介助ボランティア



### 4/7「伊丹市立こども発達支援センター

(あすばる)」視察

ここは、児童発達支援の各分野と、診療所が整った施設です。

小児科の専門医が常駐、小児整形外科医の診療もあり、リハビリテーションができます。

また、一元的に相談を受け付ける「総合調整部門」が新設され、「保健」「医療」「福祉」「教育」の4分野の重なり合う領域のサービスをコーディネートしていきます。さらには利用者

に総合的な支援を提供できるように調整して

いくことができます。  
伊丹市のこの先進的な取り組みをしっかりと学んでいきます。



## 宝塚市における住民自治組織の現状と課題について

本年4月に、宝塚市住民自治組織のあり方に関する調査専門委員による「宝塚市住民自治組織のあり方に関する報告書」がだされた。

- ①まちづくり協議会の中立性の確保と民主化の実現は、どのような運営やシステムによって確立していくのか。
- ②地域活動を担う多様な人材の育成は。

〈市長〉

- ①民主的な決議システム、基本的な会計システム、徹底した情報公開と監査システムの構築が必要。
- ②リタイア世代が広く活動を担い、現役世代にはピンポイントで無理のない範囲で参加してもらう仕組みと、女性も役員の立場に参画してもらう工夫が必要。地域と検討し、「地域の担い手プロジェクト」を実践活動に結びつける。回覧板等の情報伝達方法や委員推薦の代替方法も検討する。

## 学校給食事業について

本年4月から開始された「学校給食費公会計システム」の運用状況について。

〈教育長〉

学校給食徴収システムは4月から作業を行い、6月に初回の振替日をむかえた。今後、業務の効率化や透明化が図られる。

光熱水費の取り扱いについて保護者への説明責任は果たされているのか。

〈教育長〉

自校炊飯実施に伴う、委託炊飯費の削減効果額を、副食の充実とともに、光熱水費に充てることになった。今年度はさらに削減効果があがったので光熱水費4円充当するが、副食分は変わらず充実させていく。

新たな組織の「学校給食運営協議会」での説明とともに、保護者向けのお知らせ文書で周知を図る。

## 2次質問

アレルギー対応など、献立作成業務の安全管理も、人とこのシステムで、二重三重で確立してほしいが。

〈管理部長〉

栄養管理システムで、該当者ごとにアレルギー物質表示した献立表作成が可能。保護者や各学校の除去対象食品の確認が確実にできるよう検証をすすめている。

### ■■■ 北野意見 ■■■

調理員の大幅人員減により、「質のよい調理」の確保ができなくなるのではないかと危惧するところである。おいしい安全な学校給食実現のために、調理員の労働条件悪化につながることはないようにしていくことが求められる。



## 「障害者差別解消法」施行について

宝塚市としての取り組みの状況は。

### ■■■■ 北野意見 ■■■■

障がいのある子どもの意見を聞くことと、クラスメイトの意見も聞くことが大切である。「どうすれば、みんなで一緒に勉強できるのだろうか?」と、試行錯誤を重ねながら、子どもたちと一緒に考え、インクルーシブ教育を進めてほしい。

インクルーシブ教育と合理的配慮とは。

〈市長〉

障がいを理由とする差別に関する相談窓口を、障害福祉課と高齢者・障がい者権利擁護支援センターに設置した。  
啓発を行い講演会も開催。  
職員対応要領と具体的なガイドラインを作成した。  
障害者差別解消に関する条例の来年1月施行をめざす。

〈教育長〉

障がいのある子どもと障がいのない子どもが、同じ場で共に学ぶことが求められている。子ども理解に基づいた教室環境など合理的配慮の提供を行っている。

## 「性的マイノリティ」支援方策について

「ありのままに自分らしく生きられるまち宝塚」をめざしての歩みが始まったが、救急や災害などの緊急時にはジェンダーやセクシュアリティ平等の視点が見落とされがち。その配慮は。

### ■■■■ 北野意見 ■■■■

異なる他者のありのままの存在を認め、多様な人々が共に生きるまちをめざしてほしい。

〈市長〉

救急や災害時には、従事する職員や避難所運営に関わる方々の認識や理解が大切。不適切な言動がないよう、学習・理解の促進を図っていく。  
様々な場面で想定される当事者の生きづらさに寄り添った取り組みを進めたい。  
電話相談を週1回、講師派遣や出前講座も行う。

〈教育長〉

書籍や人権啓発ビデオを配布し研修で活用。教職員用のリーフレットを作成し、正しい理解を深め、一人ひとりを大切にしたい取り組みを進める。



### 【文教生活常任委員会】

6月1日

●議案第79号：宝塚市立病院に「腫瘍内科」設置（可決）

がん医療の推進のため、(仮称)がん治療センター開設に先立って腫瘍内科を標榜し、集学的治療のうち、抗がん剤を用いた化学療法を強化します。

●請願第11号：豊かな教育を実現するための義務教育費国庫負担制度の堅持を求める請願（採択）  
「豊かな教育の創造をめざす宝塚市民会議」の岡田浩之さんが口頭陳述にきてくださいました。

# 活動トピックス

阪神政策研究会「連節バス」視察 4/21  
三田市において朝・夕のラッシュ時混雑緩和とアクセス向上を図るため導入されたBRT(バス高速輸送)システム。公共交通のイメージ向上と活性化がメリット。低床で車いす対応もスイッチひとつ。100名ほどが乗れる。



宝塚地区メーデー(水岡俊一参議院議員と) 5/2



広報キャラバン隊(豊岡市出石町) 5/28



宝塚駅街頭演説  
(水岡俊一参議院議員と)  
5/6



勝手連応援行動(南あわじ市) 6/5



新任教職員歓迎ボウリング大会 5/6  
若い力がいっぱい。仲間と一緒にがんばってほしい。私の始球式、その1球がストライク! わあーい



## ～風のココロ～

ありのままの自分で

～「性的少数者」によりそうまちづくり～  
6月1日宝塚市でスタートしました。  
少数であることなどを理由に正しく理解されず、「平等の権利」を保障されていない人たち、差別や偏見・暴力に苦しんでいる人たちを、お互い同じ「個人」として尊重し合いましょう。

◇発行人◇ 北野さと子  
◇連絡先◇  
〒665-0034 宝塚市小林2丁目 12-27-209  
Tel&Fax 0797-73-4556  
ホームページ <http://www.kitanosatoko.com/>